

●施策を構成する事務事業等の概要

① 事務事業等の名称		H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算
歩け歩け大会開催事業	事業費(千円)	156	172	350
	所要人員(人)	0.03	0.03	0.03
開始年度	昭和 53 年 ~	総コスト(千円)	410	425
事業内容 (平成29年度の活動状況)	市の魅力の発見や参加者同士の親睦を図るため、市内約9.5kmをコースとする歩け歩け大会を開催する。 【コース】第一小学校(スタート)→日吉神社→横田児童遊園→七所神社→出会いの広場→六地藏→猿久保→六道山公園→里山民家→総合体育館→管理事務所→出会いの広場→七所神社→横田児童遊園→横田トンネル→日吉神社→第一小学校(ゴール) 【過去3年間の参加者数】 平成27年度：231人 平成28年度：251人 平成29年度：248人			
【今後の方向性】		⇒ 継続		
理由等	年齢を問わず幼児から高齢者までが広く参加でき、市民のスポーツ活動の一助となっている事業であるため。			
行政評価会議からの意見			行政評価委員会からの意見	
有口 無口			有口 無口	

② 事務事業等の名称		H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算
市民駅伝競走大会開催事業	事業費(千円)	3,819	4,592	4,903
	所要人員(人)	0.1	0.15	0.15
開始年度	昭和 48 年 ~	総コスト(千円)	4,666	5,857
事業内容 (平成29年度の活動状況)	総合体育館前をスタート及びゴールとし、市内6区間14.87kmをコースとして駅伝競走大会を開催するものであり、平成29年度は一般、地域、女子、中学生男子、中学生女子、小学生の各部と栄村や横田基地の特別参加チームが参加した。 【平成29年度】 開催日：12月10日(日) 参加数：147チーム			
【今後の方向性】		⇒ 継続		
理由等	市民駅伝競走大会は、市のスポーツ事業の中でも大きな大会であるとともに、毎年恒例の事業となっていることから、市民の大会に対する期待が高いため。			
行政評価会議からの意見			行政評価委員会からの意見	
有口 無口			有口 無口	

③ 事務事業等の名称		H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算
スポーツ都市宣言記念事業	事業費(千円)	606	603	640
	所要人員(人)	0.03	0.03	0.03
開始年度	平成 27 年 ~	総コスト(千円)	860	856
事業内容 (平成29年度の活動状況)	「2014武蔵村山市スポーツ都市宣言」を記念し、誰もが気軽にスポーツに親しめるよう、毎年、オリンピックなど有名なスポーツ選手を講師に招いた講演会やスポーツ教室を開催する。 【平成29年度】 開催日：10月1日(日) 参加者：講演会105人、陸上教室137人(延べ242人)			
【今後の方向性】		⇒ 継続		
理由等	本市では、平成26年10月5日にスポーツ都市宣言を行っており、スポーツ都市宣言記念事業として、毎年、オリンピックなど有名なスポーツ選手を講師に招いた講演会やスポーツ教室を行っている。 平成29年度は、スポーツの基本とも言える「走る」をテーマにした講演会及び陸上教室を開催し、延べ242人に参加いただいております、市民のスポーツ活動や競技力の向上に寄与しているため。			
行政評価会議からの意見			行政評価委員会からの意見	
有口 無口			有口 無口	

④ 事務事業等の名称		H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	
少年少女スポーツ大会開催事業	事業費(千円)	4,070	4,863	2,574	
	所要人員(人)	0.1	0.1	0.1	
開始年度	昭和 46 年 ~	総コスト(千円)	4,917	5,706	3,421
事業内容 (平成29年度の活動状況)	<p>子どもたちがスポーツに親しむ機会を提供するため、市内小学校に通う児童等を対象にスポーツ大会を開催する。</p> <p>【平成29年度開催事業及び参加者数】</p> <p>①村山っ子相撲大会 197人 ②少年野球大会 246人 ③サッカー大会 335人 ④ドッジボール大会 1,042人 ⑤少年古希軟式野球チーム親善試合 341人</p>				
【今後の方向性】 ⇒ 継続					
理由等	子どもたちがスポーツに親しむ機会を提供するものであり、子どもたちの体力向上に寄与するため。				
行政評価会議からの意見			行政評価委員会からの意見		
有口 無口			有口 無口		

⑤ 事務事業等の名称		H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	
総合体育館及び体育施設運営事業	事業費(千円)	79,882	79,349	83,464	
	所要人員(人)	0.01	0.01	0.01	
開始年度	平成 20 年 ~	総コスト(千円)	79,967	79,433	83,549
事業内容 (平成29年度の活動状況)	<p>総合体育館及び体育施設において、指定管理者が自主事業を実施する。</p> <p>【平成29年度実施事業及び参加者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自由参加教室「楽らクラブ」： 9事業、 326回実施、延べ参加人数17,124人 ステップアップ教室： 46事業、1,637回実施、延べ参加人数13,622人 イベント事業： 6事業、 39回実施、延べ参加人数 1,527人 				
【今後の方向性】 ⇒ 継続					
理由等	指定管理者が行う各種自主事業には、多くの市民が参加しており、市民のスポーツを行う機会の提供と体力の向上が図られているため。				
行政評価会議からの意見			行政評価委員会からの意見		
有口 無口			有口 無口		

⑥ 事務事業等の名称		H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	
東京経済大学屋内プール運営事業	事業費(千円)	2,306	2,284	2,368	
	所要人員(人)	0.01	0.01	0.01	
開始年度	平成 21 年 ~	総コスト(千円)	2,391	2,368	2,453
事業内容 (平成29年度の活動状況)	<p>5月から10月までの日曜及び祝日に小学生以上の市民を対象として、東京経済大学武蔵村山キャンパスの屋内プールを開放する。</p> <p>【平成29年度開放日及び利用者数】</p> <p>開放日：平成29年5月7日（日）から平成29年10月29日（日）までの日曜日及び祝日 利用者：市民1,272人（大人473人・子供、高齢者799） 予算内訳：東京経済大学屋内プール運営委託料1,693,440円 東京経済大学屋内プール借上料 589,680円</p>				
【今後の方向性】 ⇒ 継続					
理由等	東京経済大学武蔵村山キャンパスの屋内プールは、5月から10月までの日曜及び祝日に開放しており、市営プール（野山北公園プール）の開設期間以外にも市民が利用できるプールとして、市民のスポーツ活動の一助となっているため。				
行政評価会議からの意見			行政評価委員会からの意見		
有口 無口			有口 無口		

⑦ 事務事業等の名称		H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	
地区ふれあいスポレク大会交付金	事業費(千円)	2,561	2,410	2,576	
	所要人員(人)	0.1	0.1	0.1	
開始年度	平成 18 年 ~	総コスト(千円)	3,408	3,253	3,423
事業内容 (平成29年度の活動状況)	<p>教育委員会が主催する地区ふれあいスポレク大会は、スポーツ・レクリエーションを通じて市民相互の融和と親睦を深め、健康な心身を培うことを目的に市内4地区で開催する。 自治会長やスポーツ推進委員などで構成される各地区の実行委員会は、市から交付金の交付を受け、大会の企画・運営を行う。 平成29年度は雨天のため中止。</p>				
【今後の方向性】 ⇒ 見直し					
理由等	<p>市内4地区で開催しているが、高齢化等により参加者数が減少している地区も見受けられる。現在も自治会に加入している市民だけでなく、自治会未加入の市民も参加できる内容で開催をしているが、参加者の多くは自治会に加入している市民であるため、参加者の拡大を図る必要がある。 また、自治会を中心に大会を運営しているが、負担が大きという意見も挙がっていることから、市民の負担を軽減する見直しを行う必要があり、会場の統合や交付金の見直しについて、参加者等の意見を聴取した上で検討していく必要がある。</p>				
行政評価会議からの意見	自治会加入率の低下や高齢化に伴い、各地区における参加者の確保は難しくなっていることから、より効果的な事業となるよう、開催地区や参加者等について、各地区の意見を踏まえた上で見直ししていくことが肝要である。	行政評価委員会からの意見	過去に当委員会から付した意見を踏まえ、効果的な事業へと見直ししていくことが肝要である。なお、見直しに当たっては、各地区が抱える課題の解決に向けた支援体制を構築するなど、より多くの市民がスポーツに親しむことができるよう、創意工夫していくことを求めたい。		
有☑ 無☐		有☑ 無☐			

⑧ 事務事業等の名称		H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	
地区スポーツ協力員連絡会交付金	事業費(千円)	960	960	968	
	所要人員(人)	0.1	0.1	0.1	
開始年度	昭和 52 年 ~	総コスト(千円)	1,807	1,803	1,815
事業内容 (平成29年度の活動状況)	<p>事業の充実を図り、もって市民の健康と体力の増進を図ることを目的として、武蔵村山市地区スポーツ協力員連絡会が市民を対象に実施するスポーツ大会等の事業に対し、地区スポーツ協力員連絡会交付金を交付する。</p>				
【今後の方向性】 ⇒ 継続					
理由等	<p>スポーツ協力員制度は本市独自の制度であるが、地区の実情に即したスポーツ大会等の開催により、地域住民がスポーツ・レクリエーション活動を行う機会が提供され、更には地域の親睦、交流も図られているため。</p>				
行政評価会議からの意見		行政評価委員会からの意見			
有☐ 無☑		有☐ 無☑			

⑨ 事務事業等の名称		H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	
社会体育団体補助金	事業費(千円)	4,544	4,544	4,544	
	所要人員(人)	0.01	0.01	0.01	
開始年度	昭和 42 年 ~	総コスト(千円)	4,629	4,628	4,629
事業内容 (平成29年度の活動状況)	<p>本市におけるスポーツの振興を図ることを目的として、社会体育団体（武蔵村山市体育協会）が行うスポーツ振興事業に対し補助金を交付する。</p>				
【今後の方向性】 ⇒ 見直し					
理由等	<p>武蔵村山市体育協会は、総合体育大会を開催し市民のスポーツ活動を推進しているほか、市のスポーツ団体の多くが加盟しており、本市のスポーツを振興する上で果たす役割は非常に大きい。 しかしながら、平成26年度行政評価委員会から収入に占める補助金の割合が多い現状を踏まえて、自主財源の確保など、財源基盤の安定した組織体制を構築すべき旨の意見が付されているため、今後も、法人化における利点や課題を精査するなど、運営体制の強化に向けた取組を進めていく。</p>				
行政評価会議からの意見	収入に占める補助金の割合が高いことから、補助金への依存割合の低減を図る必要があり、財政基盤の安定した組織体制を構築していくために、引き続き、法人化に向けた利点や課題を精査した上で、運営体制の強化に向けた取組を促していく必要がある。	行政評価委員会からの意見	過去に当委員会から付した意見を踏まえ、引き続き武蔵村山市体育協会の法人化を促していくことが肝要である。なお、法人化に当たっては、財務面及び税務面の適正化に向けた管理体制の構築について、併せて検討することを求めたい。		
有☑ 無☐		有☑ 無☐			

⑩ 事務事業等の名称		H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算
総合型地域スポーツクラブ運営補助金	事業費(千円)	600	600	600
	所要人員(人)	0.01	0.01	0.01
開始年度	平成 25 年 ~	総コスト(千円)	685	684
事業内容 (平成29年度の活動状況)	<p>本市におけるスポーツの振興を図ることを目的として、総合型地域スポーツクラブ「よってかっしえクラブ」の運営を補助する。</p> <p>なお、当該クラブは、地域住民が主体的に運営し、子ども、高齢者、障害者等の誰もが身近にスポーツを親しみ、交流が図れる新たなコミュニティとして活動を行っている。各種スポーツ教室、文化活動、イベント事業を開催しているほか、市主催事業にも積極的に参加をしている。</p>			
【今後の方向性】 ⇒ 継続				
理由等	よってかっしえクラブの設立には市が関与しており、当該クラブは会費や教室参加費の徴収など自主財源の確保にも努めているが、運営が安定するまでは市補助金による運営補助が必要である。			
行政評価会議からの意見			行政評価委員会からの意見	
有口 無口			有口 無口	

⑪ 事務事業等の名称		H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算
スポーツ少年団運営支援補助金	事業費(千円)	140	370	510
	所要人員(人)	0.01	0.01	0.01
開始年度	平成 27 年 ~	総コスト(千円)	225	454
事業内容 (平成29年度の活動状況)	<p>武蔵村山市スポーツ少年団の運営の安定を図り、もって武蔵村山市におけるスポーツの振興及び青少年の心身の健全な育成に寄与することを目的として補助金を交付する。</p> <p>平成29年度には少年団本部主催により、元日本代表を講師に招いたバスケットボール講習会を開催し、団員の技術の向上にも努めた。</p> <p>なお、現在、登録団体は1団体であるが、少年団の規模拡大に向けて各種ジュニア団体と調整を進めている。</p>			
【今後の方向性】 ⇒ 継続				
理由等	スポーツ少年団は、青少年の健全育成に寄与することを目的として平成27年度に市が関与して設立した経緯があり、市補助金は、スポーツ少年団の登録料や大会出場費、指導者育成に要する経費などに活用されていることから、継続すべきである。			
行政評価会議からの意見			行政評価委員会からの意見	
有口 無口			有口 無口	

⑫ 事務事業等の名称		H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算
全国大会等出場者補助金	事業費(千円)	248	0	180
	所要人員(人)	0.01	0.01	0.01
開始年度	平成 8 年 ~	総コスト(千円)	333	84
事業内容 (平成29年度の活動状況)	<p>市民のスポーツ、文化活動等の振興を図るため、武蔵村山市で活動し、かつ全国大会等に出場することとなったものに対して補助金を交付する。</p> <p>【過去3年間の補助実績】</p> <p>平成29年度：実績なし</p> <p>平成28年度：4件（団体2件、個人2件）</p> <p>平成27年度：6件（団体2件、個人4件）</p>			
【今後の方向性】 ⇒ 継続				
理由等	全国大会に出場する際に必要となる交通費及び宿泊費の一部を補助するものであり、市民のスポーツ、文化活動等の振興に寄与するため。			
行政評価会議からの意見			行政評価委員会からの意見	
有口 無口			有口 無口	